



Sun StorEdge™ 3310 SCSI Array リリースノート

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054 U.S.A.
650-960-1300

部品番号 816-7942-11
2003年7月 改訂第 A 版

本書に関するコメントの送り先:docfeedback@sun.com

Copyright © 2002–2003 Dot Hill Systems Corporation, 6305 El Camino Real, Carlsbad, California 92009, USA. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. および Dot Hill Systems Corporation は、本製品または文書に含まれる技術に関する知的所有権を所有していることがあります。特に、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に記載される米国特許権が 1 つ以上、あるいは、米国およびその他の国における追加特許権または申請中特許権が 1 つ以上、制限なく含まれている場合があります。

本製品または文書は、その使用、複製配布、およびデコンパイルを制限するライセンスの下に配布されます。Sun およびそのライセンサ（該当する場合）からの書面による事前の許可なく、いかなる手段や形態においても、本製品または文書の全部または一部を複製することを禁じます。

サードパーティ ソフトウェアは、Sun のサプライヤより著作権およびライセンスを受けています。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、米国およびその他の国における登録商標であり、X/Open Company, Ltd. からの独占ライセンスを受けています。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Sun StorEdge、AnswerBook2、docs.sun.com、Sun Rack 900、および Solaris は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

米国政府の権利 - 商用。政府内ユーザは Sun Microsystems, Inc. の標準ライセンス契約、および該当する FAR の条項とその補足条項の対象となります。

本文書は "AS IS (現状のまま)" として提供されるもので、商品性、特定用途の適合性、または非侵害性に対するすべての暗黙的保証を含め、すべての明示的または暗黙的の条件、表明、および保証を、そのような放棄が法律上無効とされる場合を除き放棄します。

Copyright © 2002–2003 Dot Hill Systems Corporation, 6305 El Camino Real, Carlsbad, California 92009, Etats-Unis. Tous droits réservés.

Sun Microsystems, Inc. et Dot Hill Systems Corporation peuvent avoir les droits de propriété intellectuelle relatants à la technologie incorporée dans le produit qui est décrit dans ce document. En particulier, et sans la limitation, ces droits de propriété intellectuelle peuvent inclure un ou plus des brevets américains énumérés à <http://www.sun.com/patents> et un ou les brevets plus supplémentaires ou les applications de brevet en attente dans les Etats-Unis et dans les autres pays.

Ce produit ou document est protégé par un copyright et distribué avec des licences qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution, et la décompilation. Aucune partie de ce produit ou document ne peut être reproduite sous aucune forme, par quelque moyen que ce soit, sans l'autorisation préalable et écrite de Sun et de ses bailleurs de licence, s'il y en a.

Le logiciel détenu par des tiers, et qui comprend la technologie relative aux polices de caractères, est protégé par un copyright et licencié par des fournisseurs de Sun.

Des parties de ce produit pourront être dérivées des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. UNIX est une marque déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays et licenciée exclusivement par X/Open Company, Ltd.

Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, Sun StorEdge, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Rack 900, et Solaris sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

LA DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ÉTAT" ET TOUTES AUTRES CONDITIONS, CONDITIONS, DECLARATIONS ET GARANTIES EXPRESSES OU TACITES SONT FORMELLEMENT EXCLUES, DANS LA MESURE AUTORISÉE PAR LA LOI APPLICABLE, Y COMPRIS NOTAMMENT TOUTE GARANTIE IMPLICITE RELATIVE A LA QUALITE MARCHANDE, A L'APTITUDE A UNE UTILISATION PARTICULIERE OU A L'ABSENCE DE CONTREFAÇON.



Adobe PostScript

目次

このリリースでの新機能	2
2003 年 6 月 9 日現在の新機能	3
リリース文書	4
サポートされている Sun プラットフォームおよび接続方法	5
サポートされているオペレーティング システムとソフトウェア	6
サポートされている接続方法	7
サポートされているホスト アダプタ	7
サポートされているキャビネット	8
サポートされているディスク ドライブ	9
サポートされているケーブル	10
ブート機能	10
必要なパッチ	11
必要な Solaris パッチのインストール	11
▼ Solaris 推奨のパッチ クラスタをダウンロードおよびインストールする	11
コントローラ ファームウェア パッチのインストール	12
▼ 現在のコントローラ ファームウェアのバージョンを特定する	12
▼ ファームウェア パッチをダウンロードしインストールする	13
Sun StorEdge 3000 Family Array 用の更新された管理および監視用ソフトウェアのダウンロードとインストール	13

▼ 更新されたソフトウェアをダウンロードしインストールする	13
既知の問題	14

Sun StorEdge 3310 SCSI Array

リリース ノート

Sun StorEdge™ 3310 SCSI Array をインストールまたはご使用になる前に、このリリース ノートをお読みください。本書では、重要な最新ニュースなどの必須情報について、次のセクションに分けて説明します。

- 2 ページの「このリリースでの新機能」
- 3 ページの「2003 年 6 月 9 日現在の新機能」
- 4 ページの「リリース文書」
- 5 ページの「サポートされている Sun プラットフォームおよび接続方法」
- 6 ページの「サポートされているオペレーティング システムとソフトウェア」
- 7 ページの「サポートされている接続方法」
- 7 ページの「サポートされているホスト アダプタ」
- 8 ページの「サポートされているキャビネット」
- 9 ページの「サポートされているディスク ドライブ」
- 10 ページの「サポートされているケーブル」
- 10 ページの「ブート機能」
- 11 ページの「必要なパッチ」
- 11 ページの「必要な Solaris パッチのインストール」
 - 11 ページの「Solaris 推奨のパッチ クラスタをダウンロードおよびインストールする」
- 12 ページの「コントローラ ファームウェア パッチのインストール」
 - 12 ページの「現在のコントローラ ファームウェアのバージョンを特定する」
 - 13 ページの「ファームウェア パッチをダウンロードしインストールする」
- 13 ページの「Sun StorEdge 3000 Family Array 用の更新された管理および監視用ソフトウェアのダウンロードとインストール」
 - 13 ページの「更新されたソフトウェアをダウンロードしインストールする」
- 14 ページの「既知の問題」

このリリースでの新機能

このリリースでの新機能は、次のとおりです。

- **5 言語に翻訳されたマニュアル:**翻訳済みのユーザ文書は、Sun StorEdge 3000 Family 文書 CD、および 4 ページの「リリース文書」に記載されているマニュアル Web サイトから次の言語で入手できます。
 - フランス語
 - 日本語
 - 韓国語
 - 中国語（簡体字）
 - 中国語（繁体字）
- **3 言語に翻訳された Solaris オペレーティング システム用ソフトウェア:**このリリースには、Sun StorEdge 3310 SCSI Array と Sun StorEdge 3510 FC Array の両方をサポートする、3 つの言語に現地仕様化された更新された管理および監視用ソフトウェアが含まれています。
 - Sun StorEdge Configuration Service 1.3 (Solaris オペレーティング システムのみ)
 - Sun StorEdge Diagnostic Reporter 1.3 (Solaris オペレーティング システムのみ)

現在、本ソフトウェアは、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD から次の言語で入手できます。

- 英語
- フランス語
- 日本語
- 中国語（簡体字）

これらの新ソフトウェアは、Sun の Download Center からダウンロードできます。詳細は、13 ページの「Sun StorEdge 3000 Family Array 用の更新された管理および監視用ソフトウェアのダウンロードとインストール」を参照してください。

表 1 現在のソフトウェア バージョン

ソフトウェア	Solaris	Windows	Linux
Sun StorEdge Configuration Service	1.3*	1.2	1.2
Sun StorEdge Diagnostic Reporter	1.3*	1.2	1.2
Sun StorEdge CLI	1.2	1.2	1.2

* バージョン 1.3 では、Solaris プラットフォーム用翻訳済みソフトウェア、および関連ファイルが追加されました。その他の機能はソフトウェア バージョン 1.2 と同様です。

注 – 日本語、フランス語、中国語（簡体字）に翻訳されたソフトウェアは、現時点では Solaris オペレーティング システムでのみサポートされています。その他のプラットフォームでソフトウェアを実行するには、英語版のソフトウェアをインストールする必要があります。

2003 年 6 月 9 日現在の新機能

このリリースでは、Sun StorEdge 3310 SCSI Array のファームウェアが更新されました。また、管理および監視用ソフトウェアが更新され、Sun StorEdge 3310 SCSI Array と Sun StorEdge 3510 FC Array の両方を同じ管理ホスト サーバから管理できるようになりました。その他のソフトウェアやハードウェアに対するサポートも追加され、バグが修正されました。

このリリースでの新機能は、次のとおりです。

- 新バージョンである Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service 1.2 および Sun StorEdge 3000 Family Diagnostic Reporter 1.2 ソフトウェア、およびコマンド行インターフェイス (CLI) ソフトウェアでは、Sun StorEdge 3310 SCSI Array と Sun StorEdge 3510 FC Array の両方を管理し監視することができます。

これらの新ソフトウェアは、Sun の Download Center からダウンロードできます。詳細は、13 ページの「Sun StorEdge 3000 Family Array 用の更新された管理および監視用ソフトウェアのダウンロードとインストール」を参照してください。

- `sscli` (1M) ユーティリティでは、前リリースのバージョンに比べさらにコマンドが追加されました。Configuration Service の GUI ベースのソフトウェアの代わりにそれらのコマンドを使用して、より完全なスクリプト記述とコマンド行管理を行えるようになりました。
- RAID ファームウェア バージョン 3.25Q が新しくリリースされました。

以前のバージョンがインストールされている場合、お使いのアレイに搭載されているファームウェアのバージョンを確認する方法および 3.25Q バージョンをダウンロードする方法については、12 ページの「コントローラ ファームウェア パッチのインストール」を参照してください。

- Sun™ Rack 900 キャビネットがサポートされるようになりました。
詳細は、8 ページの「サポートされているキャビネット」を参照してください。
- Sun Fire V120 サーバ、Sun Fire V210 サーバ、Sun Fire V240 サーバ、Sun Fire V60x サーバ、および Sun Fire V65x サーバがサポートされるようになりました。
サポートされている全サーバのリストについては、5 ページの「サポートされている Sun プラットフォームおよび接続方法」を参照してください。

- Sun StorEdge 3310 SCSI Array は、Microsoft Windows Hardware Quality Lab (WHQL) の互換性テストに合格しています。このアレイは、現在、Windows 2000 をサポートするものとして Windows Server カタログに掲載されています。
- RAID ファームウェアは、HP-UX 11.0 および 11i、IBM AIX 4.3.3 および 5.1L オペレーティング システムをサポートしています。
サポートされているオペレーティング システムのリストについては、6 ページの「サポートされているオペレーティング システムとソフトウェア」を参照してください。

リリース文書

これらのリリース ノートは、次の表に示す文書を補足するものです。

表 2 Sun StorEdge 3310 SCSI Array マニュアル

タイトル	部品番号
Sun StorEdge 3310 SCSI Array 用『Sun StorEdge 3000 Family 最適使用法の手引き』	816-7293
Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service 1.3 ユーザ ガイド	817-3337
Sun StorEdge 3000 Family Diagnostic Reporter 1.3 ユーザ ガイド 『Sun StorEdge 3000 Family FRU インストール ガイド』	817-3338 816-7326
Sun StorEdge 3310 FC Array 用『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービス マニュアル』	816-7290
2U アレイ用『Sun StorEdge 3000 Family ラック インストール ガイド』	816-7320
Sun StorEdge 3310 FC Array 用『Sun StorEdge 3000 Family RAID ファームウェア 3.25 ユーザ ガイド』	816-7296
Sun StorEdge 3310 SCSI Array 用『Sun StorEdge 3000 Family Safety, Regulatory, and Compliance Manual』	816-7930

上記の表に記載されたマニュアルは、次の場所からダウンロードできます。

- http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network_Storage_Solutions/Workgroup/3310
- <http://docs.sun.com/db/coll/3310SCSIarray>

Sun StorEdge 3510 FC Array マニュアルの書籍は、次のサイトからご注文になれます。

- <http://corppub.iuniverse.com/marketplace/sun>

サポートされている Sun プラットフォームおよび接続方法

Sun StorEdge 3310 SCSI Array は、次のいずれかの方法で Solaris システムに接続できます。

- (ホスト システム上で) オンボード SCSI ポート接続を使用する。
- Sun PCI Dual Ultra3 SCSI ホスト アダプタ (160 MB/秒)、部品番号 (X)6758A を使用する。

表 3 では、サポートされている各 Sun システムでサポートされている接続方法を示します。

表 3 サポートされている Sun システムおよび接続方法

	(X)6758A ホスト アダプタ	オンボード SCSI ポート
Ultra™ 60 ワークステーション	Yes	Yes
Ultra 80 ワークステーション	Yes	Yes
Sun Blade™ 1000 ワークステーション	Yes	Yes
Sun Blade 2000 ワークステーション	Yes	Yes
Netra™ 20 サーバ	Yes	Yes
Netra 120 サーバ	Yes	Yes
Netra 1280 サーバ	Yes	Yes
Netra t 1120 サーバ	Yes	Yes
Netra t 1125 サーバ	Yes	Yes
Netra t 1400 サーバ	Yes	Yes
Netra t 1405 サーバ	Yes	Yes
Sun Enterprise™ 220R サーバ	Yes	Yes
Sun Enterprise 250 サーバ	Yes	Yes
Sun Enterprise 420R サーバ	Yes	Yes
Sun Enterprise 450 サーバ	Yes	Yes
Sun™ LX50 サーバ	No	Yes
Sun Fire™ 280R サーバ	Yes	Yes

表 3 サポートされている Sun システムおよび接続方法 (続き)

	(X)6758A ホスト アダプタ	オンボード SCSI ポート
Sun Fire V60x サーバ	No	Yes
Sun Fire V65x サーバ	No	Yes
Sun Fire V120 サーバ	Yes	Yes
Sun Fire V210 サーバ	Yes	Yes
Sun Fire V240 サーバ	Yes	Yes
Sun Fire 480 サーバ	Yes	No
Sun Fire 880 サーバ	Yes	No
Sun Fire V1280 サーバ	Yes	Yes
Sun Fire 4800 サーバ	Yes	No
Sun Fire 4810 サーバ	Yes	No
Sun Fire 6800 サーバ	Yes	No

サポートされているオペレーティングシステムとソフトウェア

サポートされているオペレーティングシステムは、次のとおりです。

- Solaris 8 および 9 オペレーティングシステム
- (Sun LX50 サーバで動作する) Sun Linux 5.0
- Red Hat Linux 7.3
- Microsoft Windows NT Server 4.0 および Windows 2000 Server オペレーティングシステム
- IBM AIX 4.3.3 および 5.1L オペレーティングシステム
- HP-UX 11.0 および 11i オペレーティングシステム

注 - IBM AIX 4.3.3 および 5.1L、HP-UX 11.0 および 11i オペレーティングシステムを実行しているサーバへの接続は、アレイおよびアレイのファームウェアによってサポートされます。このリリースでは、アレイ管理ソフトウェア (Configuration Service、Diagnostic Reporter、および CLI) は上記のオペレーティングシステムをサポートしていません。

サポートされているソフトウェアは、次のとおりです。

- Sun StorEdge 3310 SCSI Array Configuration Service 1.2
- Sun StorEdge 3310 SCSI Array Diagnostic Reporter 1.2

- Sun StorEdge 3310 SCSI Array CLI 1.2
- Sun Cluster™ 3.0 ソフトウェア
- Solstice DiskSuite 4.2.1 またはそれ以降 (Solaris 8 オペレーティング システム用)
- Solaris Volume Manager for Solaris 9 (Solaris 9 オペレーティング システム用)
- VERITAS Volume Manager 3.2 および Volume Manager 3.5
 (『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービス マニュアル』の「VERITAS DMP の有効化」のセクションに記載された手順は、バージョン 3.2 と 3.5 に適用されます。)
- Sun StorEdge Performance Suite (Sun StorEdge QFS ソフトウェア)
- Sun StorEdge Utilization Suite (Sun StorEdge SAM-FS ソフトウェア)

サポートされている接続方法

Sun StorEdge 3310 Array は、次のいずれかの方法でホストに接続できます。

- サポートされているホストのいずれかに内蔵されているシングルエンドの SCSI コントローラを使用する。
 6 ページの「サポートされているオペレーティング システムとソフトウェア」を参照してください。
- サポートされているホスト アダプタを使用する。
 次の「サポートされているホスト アダプタ」を参照してください。

サポートされているホスト アダプタ

次の表に、サポートされているホスト アダプタを示します。

オペレーティング システム	ホスト アダプタ	部品番号
Solaris オペレーティング システム	Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI ホスト アダプタ	X6758A
Windows 2000/NT および Linux オペレーティング システム	Adaptec SCSI カード 39160 (Dual Ultra 160 SCSI PCI ホスト アダプタ)	Adaptec 39160 – Sun からは使用不可



注意 – Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI ホスト アダプタを使用している場合は、アダプタがインストールされているホストにアダプタのドライバをダウンロードしインストールしてください。（ダウンロード手順については、『Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI Host Adapter Release Notes』（Part No. 816-2157）を参照してください。）このドライバは Solaris オペレーティング システムに含まれていないため、ドライバをインストールせずにアレイをアダプタに接続しても、ホストには認識されません。

サポートされているキャビネット

次の表に、サポートされているキャビネットとそれに関連するラックマウント キットなどの必要なキットを示します。インストール手順については、2U アレイ用『Sun StorEdge 3000 Family ラック インストール ガイド』を参照してください。

表 4 サポートされているキャビネット、関連ラックマウント キット、およびその他の要件

キャビネット名	キャビネット 部品番号	必要なキット	必要なキット 部品番号	サポートされる アレイのキャビ ネットごとの 最大数
Sun StorEdge 72 インチ 拡張キャビネット	SG-XARY030A	ラックマウント キット ドア キット	XTA-3310-RK-19L X9818A	14
Sun Fire キャビネット	SF-XCAB	ラックマウント キット	XTA-3310-RK-19L	2
Sun Rack 900 キャビ ネット	SR9-XKL038A-IP	ラックマウント キット ドア キット（複数の Sun StorEdge 3000 Family Array をマウントする場 合に必要） EMI キット（複数の Sun StorEdge 3000 Family Array をマウントする場 合に必要）	XTA-3310-RK-19S X6825A X6835A	18

注 – Sun StorEdge Array を Sun Rack 900 キャビネットとともに使用する場合は、Sun Rack 900 認定製品 Web ページ <http://www.sun.com/servers/rack/approved.html> を参照してください。

サポートされているディスク ドライブ

次の表に、Sun StorEdge 3310 SCSI Array でサポートされているディスク ドライブの説明と部品番号を示します。

説明	部品番号
36 GB 10,000 RPM	XTA-3310-36GB-10K
73 GB 10,000 RPM	XTA-3310-73GB-10K

注 – 12 台より少ないドライブを搭載して発送されたアレイでは、アレイ内の空のスロットそれぞれに、空気流と熱に適切に対処するための空気調整用のスレッドが装着されています。各ドライブ スロットには、ディスク ドライブまたは空気調整用スレッドのいずれかが必要です。

サポートされているケーブル

次の表は、サポートされている SCSI ケーブルのリストです。ケーブルは、表 1 に示されている営業部品番号を使って注文できます。

注 – すでにケーブルをお持ちの場合は、表の 3 番目の列に記載された製造部品番号と、お手元のケーブルに刻印されている製造部品番号とを照らし合わせてチェックし、そのケーブルがサポートされているかどうかを確認してください。

ケーブルのタイプと長さ	営業部品番号	製造部品番号
VHDCI/VHDCI 0.8 m	X1136A	530-2982-01
VHDCI/VHDCI 1.2 m	X1137A	530-2983-01
VHDCI/VHDCI 2 m	X1138A	530-2538-01
VHDCI/VHDCI 4 m	X3830B	530-2984-01
VHDCI/VHDCI 10 m	X3831B	530-2985-01

注 – 用意した SCSI バス ケーブルを Sun StorEdge 3310 SCSI Array または拡張ユニットに接続する場合、必ずケーブル ジャックのねじを 6 回時計回りに回して締めながら、アレイの電源をオンにして、正しく動作することを確認してください。

ブート機能

内蔵コントローラの場合、アレイからのブートには特別の手順は必要ありません。

Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI ホスト バス アダプタを介してホストをブートするには、『Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI Host Adapter Installation Guide』(Part No. 816-2156) の「Bootability」の章に記載された手順に従ってください。インストール ガイドのオンライン版は、次の Web サイトから入手できます。

- http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network_Storage_Solutions/Adapters

ドライバ用パッチを含む、このホスト バス アダプタ用の最新のパッチを一覧表示するには、www.sun.com/sunsolve/ にアクセスし Search SunSolve 検索エリアで「Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI Host Adapter」を検索してください。

必要なパッチ

- Sun StorEdge Configuration Service および Diagnostic Reporter ソフトウェアを使用するには、Solaris 8 および Solaris 9 推奨のパッチ クラスタが必要です。
詳細は、11 ページの「Solaris 推奨のパッチ クラスタをダウンロードおよびインストールする」を参照してください。
- お手持ちのコントローラ ファームウェアがバージョン 3.25Q 以前の場合、バグ 4717055 を修正するためにファームウェア パッチ #113722-02 が必要です。
以前のバージョンがインストールされている場合、お使いのアレイに搭載されているファームウェアのバージョンを確認する方法および 3.25Q バージョンをダウンロードする方法については、12 ページの「コントローラ ファームウェア パッチのインストール」を参照してください。
- お手持ちのファームウェアのバージョンが 3.25N の場合、3.25Q ファームウェアへのアップグレードが必要です（パッチ 113722-02）。

必要な Solaris パッチのインストール

ホストをアレイに接続する前に、Solaris ホスト上に Solaris 推奨のパッチ クラスタがインストールされていることを確認します。

▼ Solaris 推奨のパッチ クラスタをダウンロードおよびインストールする

1. アレイに接続するホストにログインします。
2. www.sun.com/sunsolve にアクセスします。
3. SunSolve Patch Contents で、Patch Portal をクリックします。
4. Downloads で、Recommended & Security Patches をクリックします。
5. SOFTWARE LICENSE AGREEMENT を読んで、Agree ボタンをクリックします。
6. Recommended & Security Solaris Patch Clusters for Solaris の表で、OS 欄から Solaris 8 または Solaris 9 を見つけ、View Readme をクリックします。
7. ブラウザ ウィンドウから Readme ファイルを印刷または保存します。

8. ブラウザの Back アイコンをクリックして、前のページに戻ります。
9. Recommended & Security Solaris Patch Clusters の表の Solaris 8 または Solaris 9 で始まる行で、Download Cluster の隣の HTTP または FTP からいずれかの形式を選択します。
10. 名前を付けて保存ダイアログボックスで、パッチ クラスタの保存先ディレクトリを入力し、OK をクリックします。
11. Readme ファイルの INSTALLATION INSTRUCTIONS セクションの手順に従い、パッチをインストールします。

コントローラ ファームウェア パッチのインストール

ファームウェア パッチ ID # 113722-02 を使用して、3.25Q 以前のバージョンのファームウェアを実行している Sun StorEdge 3310 SCSI Array のコントローラ ファームウェアをアップグレードできます。

注 - バージョン 3.25Q またはそれ以降のファームウェアをすでに実行している場合、このパッチをダウンロードしインストールする必要はありません。

▼ 現在のコントローラ ファームウェアのバージョンを特定する

現在のコントローラ ファームウェアのバージョンを特定するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ファームウェアのメニュー オプション **view system information** を選択してから **view the Firmware Version** メニュー オプションを選択します。
- Sun StorEdge Configuration Service プログラムで、目的の Sun StorEdge 3310 SCSI Array の任意のコンポーネントをハイライト表示し、**View** メニューの **View Controller** コマンドをクリックします。次に **FW Rev** チェックボックスをオンにします。

▼ ファームウェア パッチをダウンロードしインストールする

1. <http://sunsolve.Sun.COM> にアクセスします。
2. Patch Portal をクリックします。
3. Patch Finder を使用して、パッチ ID を検索フィールドに入力し、Find Patch ボタンをクリックして、パッチ ID 113722-02 を検索します。
4. Download Patch の隣にある HTTP または FTP、または Download Signed Patch の隣にある HTTPS または FTP からいずれかの形式のリンクを選択します。
5. 表示されたダイアログ ボックスで、パッチのダウンロード先ディレクトリを指定し、そこにファイルをダウンロードします。
6. Readme ファイルの手順に従ってパッチをインストールします。

Sun StorEdge 3000 Family Array 用の更新された管理および監視用ソフトウェアのダウンロードとインストール

Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service 1.2 および Sun StorEdge 3000 Family Diagnostic Reporter 1.2 ソフトウェアは、Solaris™ 8 4/01 およびそれ以降のオペレーティング システム、Solaris 9 オペレーティング システム、Windows 2000 Server と Windows NT Server 4.0 オペレーティング システム、および Red Hat Linux 7.3 オペレーティング システムで使用できます。sccli (1M) コマンド行インタフェース (CLI) も、上記のオペレーティング システムでサポートされています。

▼ 更新されたソフトウェアをダウンロードしインストールする

1. http://www.sun.com/software/download/sys_admin.html にアクセスします。
2. Storage Management で、Sun StorEdge 3310 SCSI Array and Sun StorEdge 3510 FC Array Related Software リンクをクリックします。
Sun Download Center ページが表示されます。

3. まだ登録されていない場合、登録します。
 - i. 左欄の下部にある Register Now リンクをクリックします。
 - ii. 登録ページで必要なフィールドに入力し、Register をクリックします。
 4. ログインします。
 - i. 左欄にユーザネームとパスワードを入力し、Login をクリックします。
 - ii. Terms of Use ページでライセンス契約を読んで Accept の隣の Yes をクリックし、Continue ボタンをクリックします。
 5. ソフトウェア ダウンロード ページで、お使いの阵列とオペレーティング システムのリンクをクリックします。
 6. 表示されたダイアログボックスでダウンロード先ディレクトリを指定し、指示に従ってファイルを保存します。
 7. Sun StorEdge 3510 FC Array 用の『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service 1.2 ユーザ ガイド』の「ソフトウェアのインストール」に記載されている指示に従ってください。
-

既知の問題

- **バグ 4702532:バッテリーがオフラインの場合、ライト キャッシュが自動的に無効にされない。** ライト キャッシュは、バッテリーが故障するか接続が切断されてオフラインになっても、自動的に無効にされることはありません。現設計では、ユーザは RAID コントローラのライトバック キャッシュ機能を有効または無効にすることができます。データの完全性を保証するため、ライトバック キャッシュ オプションの無効化を選択してライトスルー キャッシュ オプションに切り替えることができます。データが損失する恐れはほとんどありません。
- **バグ 4714227:負荷が重いとき、文字インターフェイスが正しく応答しない。** 異なる論理ドライブ上の複数の LUN に重負荷の I/O を課している場合、長い複数 LUN マッピング メニューなど長いメニューをスクロールすると、Esc キーを押した場合と同様に1つまたは2つ前のメニューに戻ってしまふことがあります。この問題点は重負荷の I/O 下でのみ起こるもので、長距離を隔てたユニットに telnet (1) を使用してアクセスしている場合にも、ときおり起こります。
- **バグ 4865630:show frus を実行すると、sccli がハングし I/O タイムアウトが発生する。** show fru または show configuration を実行すると、sccli バージョン 1.2.6 はハングするか、完了に必要な以上の時間がかかります。負荷が重いときは、これらのコマンドを実行することで SCSI I/O のタイムアウトが発生し、バスがリセットされる場合があります。
- **バグ 4802207:3310 の重負荷テスト中に SCSI バスのリセットおよびデーモンエラーが発生する。** 重負荷テストでは、次の種類のメッセージが出力されます。

- ターゲット タイムアウト
- SCSI バスのリセット
- 選択タイムアウト

重負荷の I/O 状態では、イベントの組み合わせによって内部 SCSI コマンドのタイムアウトが発生するため、これらのエラーメッセージがおよそ 24 時間に 1 回の頻度でコントローラから報告されます。これは、ファームウェアのタイムアウトの問題であり、ハードウェアの問題を示すものではありません。これらの情報メッセージは、データの完全性やパフォーマンスに影響を与えるものではありません。ユーザの介在は不要です。最も重要な要因は、Sun StorEdge Configuration Service (SSCS) デーモンが実行されている間の I/O 負荷が非常に重いことです。これにより、SSCS が SAFTE および RAID コントローラ情報を取得するためビジーになり、通常の I/O コマンドを処理していないために、I/O コマンドのキューのバックアップがさらに増えることがあります。

- **バグ 4843121:telnet および tip 接続が切断されているにもかかわらず、インバンド管理は正常である。** RS-232 接続や telnet 接続からファームウェアのメニューにアクセスすることはできません。これは通常、リセットまたは電源のオフ/オンを行ってから 20 分以内に起こります。接続が切断されていても、3310 上の LUN とインバンド管理ソフトウェアは正常に動作します。対応策は、3310 をリセットまたは電源のオフ/オンを行うことです。
- **バグ 4722568:SAF-TE のディスクのステータスが、No Device Inserted に戻ってしまう。** 下図のデュアルバス構成例では、実際にスロットに挿入されている 6 つのドライブについて No Device Inserted というメッセージが SAF-TE ウィンドウに表示されています。SAF-TE プロトコルは 1 つのバスにあるドライブだけを認識するため、デュアルバス構成を採用している場合は 1 つのバス（半数のドライブ）しか認識しません。デュアルバス構成においてすべてのスロットが使用されていることを確認するには、（ファームウェア アプリケーションを使用して）SCSI ドライブ ステータス テーブルを参照し、列 Chl ID を確認します。

Product ID	StorEdge 3310 A	Drive Slot 1	No Device Inserted
Revision Level	A000	Drive Slot 2	No Device Inserted
Unique ID	313233435362020	Drive Slot 3	No Device Inserted
Cooling Fan 0	Operational	Drive Slot 4	No Device Inserted
Cooling Fan 1	Operational	Drive Slot 5	No Device Inserted
Power Supply 0	Operational and On	Drive Slot 6	SCSI ID 0
Power Supply 1	Operational and On	Drive Slot 7	SCSI ID 1
Temp Sensor 0	89	Drive Slot 8	SCSI ID 2
Temp Sensor 1	86	Drive Slot 9	SCSI ID 3
Temp Sensor 2	82	Drive Slot 10	SCSI ID 4
Temp Sensor 3	77	Drive Slot 11	SCSI ID 5
Temp Sensor 4	82		
Temp Sensor 5	84		
Temp Sensor 6	82		
Temp Alert	Normal		
Speaker Status	Off or No Speaker		
Drive Slot 0	No Device Inserted		

図 1 デュアルバス構成における SAF-TE デバイス ステータス ウィンドウの例

- **バグ 4760864:コピーバック機能が RAID 1 で動作しない。** RAID 1 構成でドライブが故障した場合、RAID 1 の論理ドライブが、割り当てられたホット スペア ドライブとして再構築されます。故障したディスクが交換される際、スペア上のデータは新しく交換されたディスクにコピーされません。

- **バグ 4862488:ある構成では、Diagnostic Reporter ファイルがメールサイズの制限を超える。**大規模な構成では、Diagnostic Reporter が作成するメールメッセージが、ホストによって設定されたメールサイズの制限を超えてしまう場合があります。この場合、サイズの問題で電子メールを配信できないことを伝えるエラーメッセージが表示され、Diagnostic Reporter のメッセージは配信されません。SNMP、Sun StorEdge Configuration Service、およびファームウェアのイベントログによる監視は、影響を受けません。
- **バグ 4743721:SSCS:ディスク ドライブを識別する方法がない。**Sun StorEdge Configuration Service プログラムでは現在、アレイ上のディスク ドライブ LED を点滅させることによってディスク ドライブ ステータスを識別することはできません。この操作を行うには、ファームウェア アプリケーションを使用して view and edit scsi drives コマンドを選択します。次に、目的のディスク ドライブを選択して Return キーを押し、Identifying scsi drive コマンドを選択してドライブ LED を点滅させる 3 つのモードを指定します。
- **ホット RAID コントローラ ファームウェアのアップグレードは、I/O の負荷が重いシステムではお勧めしません。**RAID コントローラ ファームウェアのアップグレードを開始する前に、Sun StorEdge 3310 SCSI Array へのすべての I/O を停止することを強くお勧めします。必要なコントローラ ファームウェア パッチについては、11 ページの「必要なパッチ」を参照してください。